

KADENZA

KADENZA カデンツァ VOL.87 | 2026 JAN-MAR
ISHIKAWA ONGAKUDO / ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA CONCERT GUIDE

改訂版



O E K 定期会員が選ぶ 2024-2025 コンサート・ベスト 10

2026-2027 新シーズン《継承》

石川県立音楽堂 オーケストラ・アンサンブル金沢

—— 能・狂言 × 日本舞踊 × フラメンコ × オーケストラ ——

野村萬齋が魅せる 新しい音楽劇

野村萬齋 with オーケストラ・アンサンブル金沢 全国ツアー

恋は魔術師

El amor brujo

～ファリャ生誕150年記念～

MANSAI CREATION BOX

指揮 松井慶太

舞踊 花柳ツル

舞踊 工藤朋子

ダンサー 秋本悠希

演出・出演 野村萬齋

金沢 2026年3月11日(水) 19:00開演 (18:15開場)

石川県立音楽堂コンサートホール

[全席指定]SS席7,000円 / S席6,000円 / A席4,000円 / B席2,500円

石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632 助成: (一財)地域創造

新 潟 2026年3月14日(土) 14:00開演 (13:15開場)

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館コンサートホール

[全席指定]S席6,500円 / A席5,000円 / B席3,000円

りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

郡 山 2026年3月15日(日) 15:00開演 (14:00開場)

けんしん郡山文化センター

[全席指定]一般7,000円 / U25 3,500円

けんしん郡山文化センター 024-934-2288

東 京 2026年3月17日(火) 18:30開演 (17:45開場)

サントリーホール

[全席指定]S席7,000円 / A席6,000円 / B席4,000円 / C席3,000円

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

主催 / (公財)石川県音楽文化振興事業団 (ほか) ※未就学児のご入場はお断りいたします。舞踊の出演者は開催地により異なります。出演者・曲目等はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。ご了承ください。

助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))、独立行政法人日本芸術文化振興会 (ほか)

名古屋 2026年3月24日(火) 19:00開演 (18:15開場)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

[全席指定]S席7,000円 / A席6,000円 / B席4,000円

アイ・チケット 0570-00-5310

東京公演のみ 出演決定! 舞踊 中村志太郎

特設ページはこちら!

石川県立音楽堂 <https://www.ongakudo.jp>

(公財)石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL 076-232-8111
アクセス: JR北陸線 金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車

オーケストラ・アンサンブル金沢 <https://www.oek.jp>

《チケットのお求め》
石川県立音楽堂チケットボックス (石川県立音楽堂1F)
TEL 076-232-8632 (窓口) 9時~19時 (電話) 10時~18時
☒ WEBからも購入できます

1位	2025/5/15 ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.3 ボーダレスな時代のトップランナー、角野隼斗と開く新しい音楽の扉 川瀬賢太郎(指揮)、桂米團治(語り)、 角野隼斗(ピアノ)、石若 駿(ドラム)、マーティ・ホロベック(ベース)	172票
2位	2025/10/24 第498回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ 神を細部に宿すデュムゾーの火の鳥。務川慧悟のプロコフィエフ。 ビエール・デュムゾー(指揮)、務川慧悟(ピアノ)	150票
3位	2025/1/26 第490回定期公演 マイスター・シリーズ 超絶技巧を要するサン＝サーンスと指揮者の美質が問われるブラームス アントニオ・メンデス(指揮)、亀井聖矢(ピアノ)	120票
4位	2025/9/20 第496回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ 広上淳一(指揮)、トム・ボロー(ピアノ)	119票
5位	2024/9/17 第484回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ 広上淳一(指揮)、ファジル・サイ(ピアノ)	103票
6位	2025/1/18 ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.2 岩崎宏美、岩崎良美(ヴォーカル)、碓山隆一郎(指揮)	101票
7位	2025/3/8 第491回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ 沖澤のどか(指揮)、牛田智大(ピアノ)	88票
8位	2024/11/9 第487回定期公演 マイスター・シリーズ 井上道義(指揮)、ナデージダ・パヴロヴァ(ソプラノ)、アレクセイ・ティホミーロフ(バス)	87票
9位	2025/3/20 第492回定期公演 マイスター・シリーズ 広上淳一(指揮)、水谷 晃(ヴァイオリン)、植木昭雄(チェロ) 橋爪恵梨香(オーボエ)、金田直道(ファゴット)	81票
10位	2025/10/4 第497回定期公演 マイスター・シリーズ 川瀬賢太郎(指揮)、マトヴェイ・デミン(フルート) 高野麗音(ハープ)、種谷典子(ソプラノ)	80票

対象公演：2024年9月～2025年10月までの定期公演(全18公演)
応募総数：595(郵送：354、WEB：241)

VOICE OF AUDIENCE

角野隼斗さんは現代のクラシックを提案されて美しくエキサイティングに、石若駿さん(ドラム)やマーティ・ホロベックさん(ベース)とセッションを盛り上げて、ジャズとクラシックの融合を聴かせてくれました。ワクワクするその音色に感動いたしました。またこの様な楽しい音楽を企画して下さい。

兵士の物語はとても面白かった。クラシック×落語であんなに盛り上がりとは！グルダのコンチェルトはもう最高でした！あんなに盛り上がったコンサートは初めてでした。帰りの新幹線で知らない人と盛り上がったくらい…。クラシックはエンタメだと改めて思ったコンサートでした。これからもこういう攻めた企画をお願いします。

桂米團治さんの語りの「兵士の物語」はとても楽しくて、クラシックコンサートだということを忘れるくらいでした。角野隼斗さんのピアノとドラム、ベースのセッションも心おどる思いで聞き入りました。

1位

ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.3



「ボーダレス」を体現するクラシックの枠を超えた公演

1位はなんとファンタスティック・オーケストラコンサート。世界的な評価と絶大な人気を得るピアニスト・角野隼斗がOEK初共演とあってチケットも当然ながら争奪戦だったが、投票時にいただいたコメントを読むに石若駿のファンも根強く、マーティン・ホロベック

クも含めた3人の掛け合いに評価が高まった模様。また、クラシックへの造詣の深い桂米團治による「兵士の物語」もクラシックと落語の融合に感動されたコメントも多かった。角野が以前このカデンツァのインタビューで「今回の演奏は」お互いの信頼があるからでき

ること」と語ってくれたように(※)、ひとりのアーティストが舞台を支配したのではなく、川瀬率いるOEKも含めたアンサンブルをお楽しみいただき、まさにクラシックを核としながらその枠を超えていく「ボーダレス」な公演となった。

※角野隼斗インタビュー
記事はこちらから▶



Concert Info

2025/5/15(木) 19時開演 音楽堂コンサートホール

川瀬賢太郎(指揮)、角野隼斗(ピアノ)
石若駿(ドラム)、マーティ・ホロベック(ベース)
桂米團治(語り)

ストラヴィンスキー／兵士の物語
グルダ／コンチェルト・フォー・マイセルフ



OEK 2024-2025
シーズンを振り返る！

オーケストラ・アンサンブル金沢 定期会員が選ぶ

2024 >> 2025

シーズンコンサート ベスト10

Best of OEK Season Concert

昨シーズンにご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

どの演奏会が心に残ったか——定期会員の皆様に印象的な公演をお選びいただきました。ベスト10の発表とともに特筆すべきピックスも含めて2024-2025シーズンを振り返ります。





PickUp #2
井上道義のファイナル公演
 OEK 桂冠指揮者

文字通り、引退前OEKとの最後の共演となった。とはいえ大団円ではなく、シヨスタコーヴィチ「交響曲第14番」と西村朗「鳥のヘテロフォニー」と挑戦的なプログラムを披露したところに「らしさ」を感じたファンも多いはず。公演後、急遽行われたフェアウェルパーティ

には多くのファンが残り、楽団員と共にマエストロを送り出すエモーショナルな場に。音楽監督として2007〜2018年、11年間OEKを率いたマエストロがいかにOEKのファン、北陸のファンに愛されていたか——記憶に残る公演となった。



〈振り返り動画はこちら〉

11/9公演を振り返った動画をOEKで制作！リハーサルから本番まで井上マエストロを追いかけて、演奏映像はもちろん公演後に行った楽団員とのインタビューも敢行。公演だけでなく、井上マエストロとOEKのこれまでの足跡や楽団員との関係性、OEKの唯一無二の個性が浮き彫りとなったドキュメンタリーに仕上がりました。

PickUp #3

OEKメンバーがソリストとして2つの定期公演に登場！

楽団員が主役を張る公演が多かったのも、昨シーズンの特徴の1つ。3月20日の公演はハイドンの「協奏交響曲」で4人の楽団員がソリストとして登場（ヴァイオリン：水谷晃、チェロ：植木昭雄、オーボエ：橋爪恵梨香、ファゴット：金田直道）。広上淳一（OEKリーディング・ティッカー・リーダー）の指揮でとても暖かい雰囲気の中での演奏となった。

そして6月21日公演は以前よりOEKとは共演を重ね、いまや世界的現代作曲家となったイェルク・ヴィトマンが登場。作曲したその張本人が「超絶技巧を要求される難曲」と言わしめたヴァイオリン・ソロ「結婚行進曲」によるバラフレーズを圧倒的な技巧で魅せたのは、我が第1コンサートマスター、アビゲイル・ヤング。「フーガの試み」ではヴィトマンが多大な信頼を置くソプラノ歌手、クラロン・マクファデンと橋爪恵梨香が演奏、歌声とともに作品の核を担う大事な役どころを務めた。



3/20公演は楽団員がソリストで、OEKの十八番であるハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンのプログラムが組まれた重要な公演でもありました。当日の演奏の様子はもちろんのこと、広上マエストロとソリストの4人の楽団員に話を伺っています。公演を振り返りながら、オーケストラ・アンサンブル金沢としての音、室内管弦楽団だからこそその強み、そしてOEKが目指すべき理想の将来像まで話は多岐にわたりました。ぜひご覧ください。



〈振り返り動画はこちら〉

T-SHIRT

OEK復興支援Tシャツがようやく一般発売！



オーケストラ・アンサンブル金沢 (OEK) は、「能登半島地震復興応援コンサート」において、「がんばろうNOTO」Tシャツを制作し、OEKメンバー、スタッフおよび共演アーティストが着用し、公演会場やSNS等で被災地への想いを発信してきました。この度、広く能登への想いを共有いただきたと考え、販売することとなりました。なお、収益は音楽による支援活動に充当いたします。



販売は音楽堂チケットボックス窓口、もしくは公式オンラインショップにて▶

OEK 2024-2025
 シーズンを振り返る！

PickUp #1

類まれなる6人のピアニストが登場！

ファジル・サイ、亀井聖矢、牛田智大、角野隼斗、トム・ボロー、務川慧悟



5.Keigo Mukawa



3.Masaya Kamei



1.Tomoharu Ushida



6.Tom Borrow



4.Fazıl Say



2.Hayato Sumino

1. 牛田智大。公演後ご自身のSNSで、故・中村紘子とのOEKにまつわるエピソードが公開されている。
2. 石若駿、マーティ・ホロベックと共にグルダを披露した角野隼斗。
3. ロン＝ティボーを制したサン＝サーンスを力演した亀井聖矢。
4. 唯一無二の存在感で聴衆を圧倒したファジル・サイ。
5. 鮮烈なプロコフィエフを聴かせた務川慧悟。「第3番」を演奏会で披露したのは初とのこと。
6. 初来日、日本での初公演をOEKと飾ったトム・ボロー。

なんと、いつもと昨シーズンは6人のピアニストが登場。個性豊かなピアニストがそれぞれの強みを生かすプログラムでOEKと共演し、いずれの公演もベストテンにランクインしている。

各アーティストへの人気ぶりはもちろんのこと、ピアニストが登場する公演自体に票が集まりやすいことが伺える。2回目の共演となる亀井以外は5人とも初共演であった。

2026-2027《継承》 ホールに響く、音の幸

2026年は故・岩城宏之初代音楽監督の没後20年、音楽堂開館25周年、定期公演第500回を迎える。OEKにとって節目の年。まずは岩城宏之という巨星が金沢にもたらしたものを今一度振り返り、井上道義、マルク・ミンコフスキと歴代のシェフが時代をつないで音楽堂という本拠地で形作られた「OEKの音」とは何か紐解こう。そして、広上淳一（OEKアーティスティック・リーダー）率いるOEKが新シーズンでそれをどう《継承》するのか——新しい時代はその時代を生きる人々が切り開き形作るもの。その一歩を踏み出すOEKのラインナップをご覧ください。

故・岩城宏之初代音楽監督

テーマ

OEK NEW SEASON 2026-2027《継承》

| オーケストラ・アンサンブル金沢 2026-2027 シーズンラインナップ |

故・岩城宏之がOEKにもたらしたもの

文=寺西基之（音楽評論家）

オーケストラ・アンサンブル金沢（以下、OEK）の初代音楽監督岩城宏之が世を去って今年で20年、若い時から日本を代表する指揮者として活躍した彼だが、後半生はOEKの活動に特に力を入れ、わが国に有数の楽団に育て上げた。

OEKの設立は1988年だが、それまでクラシック音楽界で話題に上ることがほとんどなかった金沢という都市に新しいプロ・オーケが誕生したことは当時大きなニュースになったものだ。岩城はクラシック音楽の土壌があまりない都市であることを逆に生かして、既存の日本の楽団とは全く違ったオーケを育てようとした。彼はもともと日本の音楽界における不条理な点にはつきりと物申す人で、オーケストラ界の様々な問題についてもいろいろ感じるころがあったのだろう。理想的なオーケを一から作り上げるには音楽界のしがらみのない金沢は格好の場所だったに違いない。

実際OEKはそれまでの日本のオーケの枠には嵌らない独自性を持った楽団として、設立当初から注目された。プロ・オーケとしては初めての常設の室内管弦楽団という編成をとったこともそのひとつだが、そのメンバー構成にあたって岩城が拘ったのは、楽員の国籍を問わずに外国人を多く採用することで、そこには高い演奏水準と国際感覚を持つオーケをめざそうという思惑があった。

レパートリーの点でも斬新だった。岩城は地方オーケにありがちな名曲路線で客を呼ぼうということせず、室内楽団に相応しい様々な曲目をプログラムに入れた。特に現代音楽、中でも日本人作曲家の作品を積極的に取り上げたことは、若い時から初演魔といわれるほどに現代曲の初演を重視してきた彼ならではの方針だった。ひとりの作曲家と期間契約を結んで新作を委嘱するといったコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）の制度を設けたのもその一環だ。

当初クラシック自体にまだなじみのなかった金沢の聴衆からはそうした現代曲に対する拒否反応もあったと聞く。しかし岩城は根気よく現代曲を紹介し続け、聴衆が自然にそれを受け入れられるようにならしていった。彼はオーケを育成したばかりでなく、金沢の聴衆も啓蒙し、金沢を音楽都市にしようとしたのである。

岩城の大胆な発想と行動力は、例えばモーツァルトの交響曲全曲ツィクルスという当時としては前代未聞の6年がかりの壮大な企画を東京と名古屋で実施して、OEKの実力をアピールしたことに現れている。

こうしてOEKは日本のオーケストラ界に新風を吹き込んだ。岩城宏之の没後20年を迎えた今、OEKの原点を見直しつつ、改めて彼の偉大な業績に思いを巡らしたいものである。

1. 1994年から東京と名古屋で始まったベートーヴェン&モーツァルト・ツィクルス（1999年11月18日しらかわホール）
2. 第200回定期公演（2006年4月27日）
3. ギドン・クレーメルとの特別公演（2003年5月14日）
4. OEK初のヨーロッパ公演（1989年10月8日 ナンシー・ボワレ劇場）
5. 4度目のヨーロッパ公演（2004年4月27日 ウィーン楽友協会）
6. 練習風景（1988年旧練習場）
7. 初代コンポーザー・イン・レジデンス。左から柳慧、岩城、石井真木
8. 左から岩城、間宮芳生、木村かをり。記者会見（2005年11月23日）
9. OEK設立記念公演（1988年11月22日）
10. ヨーヨー・マとの共演（2002年11月15日）

音楽堂で創られた「OEKサウンド」とは

東条碩夫（音楽評論家）

音楽堂が開館したとき、岩城宏之初代音楽監督は「オーケストラが真の本拠地を持つことは、日本の音楽史上初めてのこと（中略）同じコンサートホールでリハサルと本番を行うことができる最高の環境の中で、我々は、OEKサウンドをここ金沢から世界に向けて発信します」というメッセージを寄せた。25年の時が経ち、井上道義、マルク・ミンコフスキ、広上淳と歴代のシエフが時代をつないだ間にどのような音が創られたか——ここで一度紐解いてみよう。

「あの石川県立音楽堂で聴くOEKには独特の良さがあるよ」という噂は、かなり早い時期から東京にも広まっていた。ただ、北陸新幹線もまだ開通していなかった当時は、そう簡単に金沢へ参上するわけにも行かなかったのである。それに加え、フットワークのいいOEKのほうがしばしば東京に来ていたの、私どもは金沢まで行かなくても、のべつOEKを聴くことができる、という具合だった。井上道義さんが、「今や金沢の名物は兼六園だけではないぞ」という珍妙なトークで「OEKと石川県立音楽堂」を東京の聴衆にPRしていたのは、2008年3月のOEKサントリーホール公演の時である。

この噂に高い石川県立音楽堂を、私が初めて訪れ、その音響の中でOEKを聴いたのは、2011年5月のことだった。井上道義さんの指揮でシューベルトの第5交響曲その他を聴いたのだが、ホールの残響が豊かで、

響きに奥行きと深みがあり、しかもオケの音が細部まで実に明晰に聞こえるのに驚いたものだ。OEKの音が、東京のいろいろなホールで聴くよりもずっと香気に満ちていて、最強音をも柔らかにバランスよく調和させてしまう。このホールで聴くOEKはいいよ、という話は本当だと思った。

その4年後、2015年6月22日に同じ井上さんの指揮でブラームスの第2交響曲などを聴いた時も同様であった。このドイツ・ロマン派の交響曲がたつぷりと響き、オーケストラが小編成であることを意識させぬほど、豊かな拡がりを持っていたのである。OEKの音がこのホールのアコースティック（音響）を基盤として創られていることが本当に納得できたのはこの時だった。遠路はるばる聴きに来た甲斐があった、と私は心から満足したのである。

それ以降、何度このホールまでOEKを聴きに来たことか。たとえば、マルク・ミンコフスキが指揮したドビュシーのオペラ「ペレアスとメリザンド」の夢幻的な演奏や、ベートーヴェンの交響曲集での、精妙さと、忘我的熱狂にあふれた演奏も――。

OEKと石川県立音楽堂とは、わが国におけるオーケストラとホールの幸せな関係の代表例とすることができよう。つい最近、2025年10月に聴いた川瀬賢太郎さんの指揮によるモーツァルトの「フルートとハープのための協奏曲」にも、私は心底から驚嘆したものだ。弦の爽やかさ、管のしなやかさ。内声部の交錯がはつきりと浮かび上がるその見事さ。このホールで聴くOEKの音は、実に高貴な美しさに満ちていた。



1. ショスタコーヴィチの第1交響曲を演奏した第300回定期公演（2011年5月13日）
2. 五嶋みどりを迎えた第364回定期公演。来年11月、五嶋は11年ぶりにOEK定期に登場（2015年6月22日）
3. ミンコフスキ指揮「ペレアスとメリザンド」（第405回定期・2018年7月30日）
4. 写真右から川瀬賢太郎（指揮）、高野麗音（ハーブ）、マトヴェイ・デミン（フルート）（第497回定期・2025年10月4日）



#505 2026 10/28 水 開演 19:00

世界で高い評価を得たドイツの俊英が金沢初登場

指揮者は腕一本で勝負する世界。チャンスは一度のみ、喝采を得られるかで将来が決まる。一つひとつチャンスをものにしてきたクレメンス・シュルトが登場。柔軟性高くどんなオーケストラでも乗りこなす仕事人だ。初共演となるOEKで「グレート」な手綱さばぎで魅せる。

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58／シューベルト：交響曲 第8番 ハ長調 D944「グレート」



◎指揮：クレメンス・シュルト ◎ピアノ：阪田知樹

#506 2026 11/27 金 開演 19:00

世界のMIDORI、満を持して再び金沢に降臨

今のMidoriを聴こう。CDになったアバドとベルリン・フィルをバックに従えたチャイコフスキーは何かに憑かれたような凄まじい集中。こちらも息つくタイミングを迷うほどだった。あれから年数が経ち、若きジェダイ川瀬を従えて定番超名曲をどう聴かせてくれるか。



◎指揮：川瀬賢太郎 ◎ヴァイオリン：五嶋みどり

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35／ビゼー：劇付随音楽「アルルの女」第1・2組曲 ほか

#507 2027 1/9 土 開演 14:00

ウィーン・フィルの若きリーダーが金沢初登場！

複数のコンサートマスターを擁するオーケストラでコンマス聴き比べは聴き手側の(ときに邪悪な?)楽しみ。流儀にフィットする柔軟性の高い音や音の聴き合いが重視される「ウィーンのコンマス」に新たに就いたヤメン・サーディ。ウィーンの領域から離れた地でサーディの真のSeele(魂)がOEKに投影される。



◎リーダー&ヴァイオリン：ヤメン・サーディ
ベートーヴェン作品集／ウィンナ・ワルツ&ポルカ集

#509 2027 2/21 日 開演 14:00

北の大地が生み出す音楽の幸

極北へのあこがれ。それをプログラミングで形にした演奏会。メインにおいたシベリウスの交響曲は本当にかっこいい。白夜のような雰囲気で結晶化された「第5番」は我が道を行った作曲家の傑作にして唯一無二の作品。大人の憧れです。極北への旅へのガイド、松井が大人のカッコよさに挑戦だ。



◎指揮：松井慶太 ◎ピアノ：ペーター・ヤブロンスキー
間宮芳生：オーケストラのためのタブロー 2005(OEK委嘱作品)
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
シベリウス：交響曲 第5番 変ホ長調 op.82

Check Point

間宮芳生「タブロー」は岩城宏之がOEK委嘱作品として最後に振った作品。松井慶太は第468回定期にて委嘱作品である松村根三「ゲッセマネの夜」にも演奏しており、シベリウスと合わせて意欲的な公演となる。

#511 2027 3/11 木 開演 19:00

精緻なアンサンブルはまるで音の工芸。

生前から国際的評価が定まった武満徹の作品。同時代を生きた他の作曲家の再評価が進んでいるためか、最近ライブで取り上げられる機会が少なくなってきた。曲は繰り返しの鑑賞で発見があり、真価が決まり高まる。時代を、文化を作ってきたOEKが規範となる演奏で武満作品の評価を再び作りにかか

Check Point

武満徹「ハウ・スロー・ザ・ウィンド」はスコットランド室内管弦楽団が初演し、現代音楽の精彩で独自の表現を体感できる作品で、岩城宏之がCD「21世紀へのメッセージ Vol.4」や公演でたびたび取り上げてきた作品。



◎指揮：広上淳一 ◎ヴァイオリン：辻 彩奈
武満 徹：ハウ・スロー・ザ・ウィンド(1991)
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63
坂本龍一：Aqua (オーケストラ版)
ベートーヴェン：交響曲 第8番 ヘ長調 op.93

見どころ聴きどころ

いよいよ4月から新シーズンを迎えるOEK。岩城宏之が金沢に遺したOEKと音楽堂に、今年も多くの優れたアーティストが国内外から集い、音楽を届けます。石川・金沢の「海の幸」「山の幸」が国内外から人気を誇るように、OEKもメイド・イン・カナザワの「音の幸」としてご堪能いただきたいと願います。

文＝戸部亮(音楽評論家)



OEK
NEW SEASON
2026-2027

《継承》

《 PHILHARMONIE SERIES

フィルハーモニー・シリーズ(8回)

古典から現代まで、クラシックの名曲をお楽しみいただく「王道」

2026 5/23 土 開演 14:00

#500

記念すべき公演で
広上淳一が第九を披露！

記念公演にはやっぱり「第九」です。日本では年末に大量生産される代表格が「第九」。しかし本来は極めて特別な機会に取り上げられる「秘伝」的作品。池辺晋一郎《豊稷の道》を前に、伝統継承者広上が厨子を開き、伝統、その核心を聴かせる。

Check Point

年末の風物詩である「第九」ですが、OEKはなかなかやりません。これは岩城宏之初代音楽監督が「特別なときに演奏すべきだ」と生前よくおっしゃっていたことに由来します。



◎指揮：広上淳一
◎独奏：久保田晶子(薩摩琵琶)、中村仁美(箏)
◎独唱：経塚果林(ソプラノ)、石田 滉(メゾ・ソプラノ)
工藤和真(テノール)、池内 響(バリトン)
◎合唱：オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団(合唱指揮：浅井隆仁)

池辺晋一郎：交響詩「豊稷の道」～薩摩琵琶、箏、箏とオーケストラのための(いしかわ百万石文化祭2023委嘱作品)
ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op.125「合唱付」

#501 2026 7/2 木 開演 19:00

アジアの才能との出遭い

いきいきと弾むリズムと疾走感に浸ろう。OEKと一体となつて疾走するボッケリーニとベートーヴェン、その颯爽感たるや心地よいものになろう。鳥羽咲音とリオ・クオクマンがアジア発のクールな名曲スタンダード像を示す。



◎指揮：リオ・クオクマン ◎チェロ：鳥羽咲音

ベートーヴェン：劇付随音楽「エグmont」序曲 op.84
ボッケリーニ：チェロ協奏曲 第9番 変ロ長調 G482(原典版)
ベートーヴェン：交響曲 第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

#503 2026 9/18 金 開演 19:00

広上淳一の熱き《運命》

温故知新。広上とOEKのベートーヴェンは作曲家を信じ、楽譜にある息遣いを広上の間合いと同期させていく。演奏の時代考証や楽譜の校訂といった客観的エビデンス整理が進む中、こういうベートーヴェンを聴けるのはOEKならではの一周回って特別なベートーヴェンだ。



◎指揮：広上淳一 ◎ピアノ：黒木雪音
モーツァルト：交響曲 第25番 ト短調 K.183(173dB)
リスト：ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S.124
ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調 op.67「運命」



◎指揮：オットー・タウスク ◎ピアノ：久末 航
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15
モーツァルト：交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」 ほか

#510 2027 3/6(土) 開演 14:00

偉大な音楽への献身
《ジュピター》、聴き終わるとやはり通称通りと思う。OEKに初登場となるオットー・タウスク。まだ日本では知名度が高いとは言えないが、現在バンクーバー交響楽団音楽監督。着実に力を蓄えている。フラットな目線で指揮者と向き合うOEKでタウスクの力を確かめよう。そして《ジュピター》の凄さを聴かせてもらおう。

FANTASTIC ORCHESTRA >>>

ファンタスティック・オーケストラコンサート(3回)

オーケストラの可能性を秘めた、ジャンルにこだわらないシリーズ。

Vol.1 2026 7/25(土) 開演 14:00

トランペットの祭典

ホールへ集合。トランペットが鳴る時、きりっとした気持ちになりませんか。招集の合図と言わんばかり。かといって襟を正すような過度な緊張感を持つ必要は全くありません。この公演は祭典。会場では華やぎと結びつきます。クラシック、現代作品、ジャズアレンジを交えた公演。公演後は間違いなく気分爽快。

Vol.2 2026 12/12(土) 開演 14:00

トークで楽しむクラシック

「おしゃべりな演奏」ってありますよね。舞台上のプレーヤーが思いを語りたくて、伝えたくて、弾いていて楽しくて、そういった感情を楽器を通じて感じるとき、「おしゃべりな演奏」と思うのです。でもおしゃべりの達人が加わればもっとその場はおもしろくなります。そう、この公演は語りの達人が加わります。

Vol.3 2027 2/7(日) 開演 14:00

ザッツ・ミュージカル

新妻聖子、降臨。クラシック音楽ファンはミュージカルを観る機会って多くないかも。垣根を自ら作ってしまっ、ミュージカルが食わず嫌いならぬ聴かず嫌いになっている人もいるかもしれない。そういう人にこそ、ミュージカル界の女王のパフォーマンスに接すべき。固定概念を変えさせてくれる力がスターには確かにあります。



◎トランペット：西村大地、セルゲイ・ナカリヤコフ、松井秀太郎
◎チェンバロ：曾根麻矢子
◎ピアノ：児玉 桃、壺阪健登
◎ベース：小川晋平
◎ドラムス：きたい くにと
◎指揮：中田延亮



◎出演：阿川佐和子(案内役)
◎指揮：川瀬賢太郎 ◎ピアノ：石井琢磨



◎ヴォーカル：新妻聖子 ◎指揮：三ツ橋敬子

MEISTER SERIES

マイスター・シリーズ(5回)

新たな発見や好奇心をゆさぶる、まさにクラシック音楽の「開拓」を楽しむシリーズ。



#499 2026 4/11(土) 開演 14:00

古典と現代のコンビネーションで新たなクラシックの魅力を発見

皆が大好き《四季》、《ブルチネルラ》。楽しさは首席の名技と情報量たっぷりの対話を普段からできているアンサンブルがあつてこそ。じゃないと全然面白くならない。わくわくしない。OEKの対話するアンサンブルの本領が発揮される時、たっぷり堪能しよう。



◎指揮：松井慶太 ◎リーダー&ヴァイオリン：アビゲイル・ヤング
◎チェンバロ：曾根麻矢子 ◎弦楽五重奏：オーケストラ・アンサンブル金沢メンバー
ヴィヴァルディ：四季(全曲)／武満 徹：弦楽のためのレクイエム(1957)
モーツァルト：フリーメイソンのための葬送音楽 ハ短調 K.477
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ブルチネルラ」組曲

Check Point

リーダー・ヴァイオリンは第1コンサートマスター、アビゲイル・ヤングが登場。《四季》はより室内乐的な演奏をお目にかけます。その後、松井慶太が指揮する武満・モーツァルト・ストラヴィンスキーと続きます。

#502 2026 7/18(土) 開演 14:00

オペラ作曲家としてのモーツァルトを深堀り

躍動する川瀬を聴く。ダボント三部作の中で、日本での集客力が最も弱い《ゴジ》。名アリアが波状攻撃のように繰り出されるような「華」はない。だがバターンを変えて繰り出される重唱の数々、優美な声のアンサンブルとコミカルな展開が人間心理の移ろいがたっぷり詰っている《ゴジ》。川瀬が《ゴジ》を活性化させる。



◎指揮：川瀬賢太郎
◎出演：モーツァルト・シンガーズ・ジャパン(演出：宮本益光)
モーツァルト：歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」K.588(演奏会形式によるオペラ・ハイライト版)

#504 2026 10/3(土) 開演 14:00

モーツァルトから影響を受けた二人の音楽家が見た世界

佐藤俊介が登場した2024年10月の定期公演。まずは公式YouTubeにある振り返り動画を観よう。遊戯に満ちた演奏会だった。対価を払って提供される出し物で「遊ぶ」のはとかくネガティブにとらえられる。演奏者のエゴである。しかし「遊び」は本当はとてもクリエイティブな行為。佐藤とOEKはそれを教えてくれる。



◎指揮・ヴァイオリン：佐藤俊介
モーツァルト：セレナード 第11番 変ホ長調 K.375より 第1楽章
シューベルト：交響曲 第5番 変ロ長調 D485
サリエリ：4人の為のフーガ風スケルツォ 第2番 ハ長調
モーツァルト：交響曲 第40番 ト短調 K.550 ほか

Check Point

昨シーズンの第486回定期公演はリハーサルの時点で楽団員から「佐藤さんはすごい!」という声がちらほら聞こえてきていて、もちろん本番は聴衆の皆様からも大評判! 終演後、会場もSNSでも大いに盛り上がりました。佐藤さんの何がそんなにすごかったのか—それを紐解く振り返り動画を作成しましたのでぜひご覧ください!



#508 2027 1/23(土) 開演 14:00

神の子モーツァルトと現代の才能の出遭い

川瀬賢太郎、佐藤俊介と続いたモーツァルト。レモンのような鮮烈感をつなぐのはOEKと初顔合わせとなる出口大地。モーツァルトは恐ろしい。指揮を通じて本物がそうではないかがはつきりとわかってしまう。出口のアイデアとそれを実現させる力を聴こう。また石若駿の作品とパフォーマンスは深い鮮烈を与える。



◎指揮：出口大地 ◎パーカッション：石若 駿
モーツァルト：交響曲 第35番 ニ長調 K.385「ハフナー」
石若 駿：協奏組曲「playgroundz(for percussion)」(改定版)
吉松 隆：アトムハーツクラブ組曲 第1番 op.70b
モーツァルト：交響曲 第39番 変ホ長調 K.543

Check Point

お気づきの方も多いと思いますが、マイスター・シリーズは「貫してモーツァルトの作品を取り上げます。手練れのアーティストたちがあふれ出るアイデアを携えて金沢へ、彼らの芸術を具現化させる高い技巧をもってOEKが対峙します。」

和洋の響VI
～能舞とオーケストラ

音楽堂では、これまでオーケストラ・アンサンブル金沢（以下、OEK）によって「和」と「洋」の数々のコラボレーション作品が上演されてきたが、「和洋の響」は和楽器が用いられ能舞と合わせることが可能な作品を公募し、さらには能舞とバレエが合わさる斬新かつ意欲的な公演。60年代から武満徹らと能舞とのコラボレーションを実践し、OEKでも積極的に新作を委嘱してきた“現代音楽の初演魔”岩城宏之初代音楽監督の遺志を受け継ぐ重要な場でもある。今回はどんな舞台になるか——まずは作曲された作品がいかなる意図で創られたか、そして他に類を見ない本企画の見どころをお届けしよう。



能舞とクラシック・バレエ、異なる舞踊手が出会うとき

文＝村上 湛（音楽堂邦楽主幹、明星大学教授）

私が「能舞監修」を担当するようになってから、今回が4度目の本企画となります。本年度の新作入選曲である鷹羽咲さん作曲『桃花の翳の花筏Ⅱ』尺八とオーケストラのための～を、能の技法を生かした舞踊表現を伴って舞台化するにあたり、喜多流シテ方・友枝雄人さんの能舞と、新国立劇場バレエ元プリンシパル・山本隆之さんのダンスによる意欲的構成を試みます。「還暦を過ぎてようやく一人前」とされる能と、パリ・オペラ座バレエ団のダンサー・定年が42歳と決められているクラシック・バレエとでは、演者に求められる身体性のありようがまったく異なります。この「違い」を楽しみながら、鷹羽さんのすばらしい音楽をどう生かすか。友枝さんと山本さんと、お二人の対話を重ねて、特色ある振付と演出を模索しつつあるところです。

舞踊手お二人の横顔をご紹介します。

友枝雄人さんのおじいさまは近來の名人として今も信奉者の多い故・友枝喜久夫。おじいさまは当代一の名手として絶大な人気を誇る人間国宝・友枝昭世さん。雄人さんはその後継者に当たります。能ではとも



するとありがちな狭い世界に閉じ籠もることなく、常に開かれた対観客意識を持つ意欲的な音楽師であると私は思っています。

山本隆之さんは新国立劇場バレエ団が1997年に創設されて以来はじめて、かつ、当初ただ一人のプリンシパル（最高位舞踊手）の地位にあつて多くの役を主演し、「ダンス・ノープル」（白いタイツを穿く王子役を代表とする気品あるダンサー）の魅力で一世を風靡しました。その麗しい舞台の数々は、同団を引退された今でも、私の眼にはつきり残っています。

お二人はもちろん今回が初の共演です。例年と違う金沢歌劇座のステージを使い、果たしてどのような表現が見られるか。鷹羽咲さんの新曲発表と合わせて、私も今から当日が楽しみでなりません。

「桃花の翳の花筏Ⅱ」作曲者

鷹羽咲 インタビュー

Saki Takaba

今年選ばれたのは鷹羽咲さんの作品『桃花の翳の花筏Ⅱ』。なんと日露戦争下の金沢が舞台となった五木寛之の長編小説『朱鷺の墓』より着想を得て作曲されたという。芸妓・染乃とロシア士官イワノフの愛と残酷な運命を描いた物語だ。

「今回演奏される本作では物語の結末であるイワノフの死と、染乃が日本を捨ててシベリアへ発つ場面」を描写しています。私はこの小説に描かれた二



人の行く末と、関わった人間によって主人公らが心を失っていく姿から『清く強くあるうとすゝるひとの、心の奥底に眠る弱さや恐れ』を感じました。私には、生きとし生けるものの全てが直面する、死と愛の痛みが、美しい街並みと軍都の二面性を持った金沢と重なって見えました。曲名『桃花の翳の花筏』は主人公二人の人生を喩えたものです。

私は近年、『ザ・カブキ』と『M』を観たことをきっかけに、舞踊と現代音楽について強い関心を抱くようになりました。日本の舞踊や文化と西洋のバレエの巧みな掛け合わせのみならず、黛敏郎の素晴らしい音楽が一体となった作品を目の当たりにして、『生きていくうちに舞踊のための音楽を書きたい』という目標を持ちました。今回このような形で、その第一歩が踏み出せたことが夢のようです。今回作曲した部分は物語の結末にあたる部分ですが、今後物語の始まりから最後までを作曲し、いつか能舞とバレエのための『桃花の翳の花筏Ⅱ』を完成させたいです」

1. 向井響「水の反映Ⅲ～十三絃とオーケストラのための～」は能楽師 高橋憲正とバレエダンサー 堀内将平によるコラボレーション（和洋の響V・2024年2月11日）
2. 柴田誠太郎『箏とオーケストラによる3人の「坊」』は能楽師 梅若桜雪（人間国宝）とバレエ・ダンサー 本島美和によるコラボレーション（和洋の響Ⅲ・2023年2月12日）



いつか物語すべてを作曲し

能舞とバレエのための『桃花の翳の花筏Ⅱ』を完成させたい

2/11 (水祝) 開場 13:15 / 開演 14:00
会場：金沢歌劇座

和洋の響VI ～能舞とオーケストラ

総合監修：池辺晋一郎（※出演は有りません）

出演：角田鋼亮（指揮）

友枝雄人（能舞）、山本隆之（バレエ）

黒田鈴尊（尺八）、工藤重典（フルート）

鷹羽 咲／桃花の翳の花筏Ⅱ

尺八とオーケストラのための（世界初演）

モーツァルト／フルート協奏曲 第1番 ほか

【全席指定】

S席 6,000円 / A席 4,000円 / B席 2,500円

OEK定期会員、邦友会会員 S席 1,500円割引、A席 1,000円割引

25歳以下当日券50%オフ（要証明書類）

Highlights & Upcoming Events

EVENT REPORT

| THIS ISSUE'S HIGHLIGHTS |



ファリャ《恋は魔術師》プレイベント

中村壱太郎 × 松井慶太

SPECIAL TALK

～知るともっと楽しめる「舞」と「音楽」のはなし～



萬斎のおもちゃ箱 Vol.2 ファリャ《恋は魔術師》より(2024年2月22日・石川県立音楽堂)

2024年に金沢で初演された萬斎のおもちゃ箱Vol.2「ファリャ《恋は魔術師》」がバージョンアップして帰ってくる！今年12月に行われた大阪・堺公演を皮切りに、3月は金沢・新潟・東京・郡山・名古屋を巡る全国ツアーを敢行。今回は堺公演を目前に控えた10月31日に会場のフェニーチェ堺にて行われたプレイベント、振付を務めた中村壱太郎（歌舞伎俳優）と松井慶太（指揮・OEKパーマネント・コンダクター）のスペシャルトークの模様を少しだけお届けしよう。

*

松井 ファリャはスペインを代表する作曲家の一人で、彼はアンダルシア地方にあるカディスという町で生まれたんですが、その近くにヘレス・デ・ラ・フロンテラというフラメンコ発祥の地があったりして。《恋は魔術師》はフラメンコのリズムがたくさん出てきます。物語と一緒に紹介していきます。

中村 このお話はヒロインのカンデーラが夫を亡くした後、新しい男性と恋をしているところから始まります。萬斎さんは「その夫がかなりの浮気者でいろんな女性に手を出した末に死んでしまった」というのを「序奏と情景」という一曲27秒の間で見せたい、とおっしゃったんですね。注目ポイントです。



松井 そして話が始まっていきますが――まず「愛の悩みの歌」を聞いてみましょう。この「1・2・3／1・2・3／1・2／1・2／1・2」というのがフラメンコのテンポです。**中村** この拍子がなかなか取れなかったです。ただ、このテンポを6拍子にとれる気がして、12になるんだって思いついて……**松井** 素晴らしい！6+6＝12ですからね。「魔法の輪」という曲に続いて……おまじないをするんですね。この発想が日本の感覚に近いというか。**中村** 「魔法の輪」から一気に曲調が変わって静かな夜が訪れますね。そして「真夜中」になる。松井さんがいまおっしゃったおまじないの儀式。日本では安倍晴明が境界を張ったりますが、そのようなイメージで私がつくらせていただきました。

松井 そして「火祭りの踊り」。この曲は、キャンブファイヤーですね。火を囲んで踊っている。

中村 歌舞伎でも小道具として使うさらしを使いました。赤いさらしを使って火に見立てて……。初演は男性と女性の舞踊家が3人ずつでしたが今回は5人ずつ、合わせて10人でダイナミックに踊る場面です。**松井** 「火祭りの踊り」でクライマックスというかひと段落して、「きつね火の歌」になります。祭りの後のような雰囲気の中流れるカッコいい曲です。

中村 最初聴いた時、カンデーラが亡くした夫と新しい男性との間で悩んでいる曲に思えたんですが、キーポイントは狐かなと。歌舞伎でも狐は化けてでたりしますが、その化かすというのを女性の思いの裏表に見立てて踊りで表現しました。

松井 そして「無言劇」という曲に続いていく。パントマイムですね。もともこの作品はバレエ音楽になる前に劇音楽だったその名残。そして「愛の戯れの踊り」に入って「終曲」で終わり。あつという間ですね。**中村** 初演と違う点を申し上げると、今回新たに手拍子だけで表現したいシーンがあるんです。まさにフラメンコです！**松井** 手拍子があれば勝手に踊りが始まりますね。それはフラメンコ自体がリズムから始まっている音楽だからだと思います。リズムと踊り



2024年の初演では振付に加え、カンデーラを演じた中村壱太郎。

があつて、そこに歌が最後入ったような気がしますね。

中村 今回の振付は花柳源九郎さんというパートナーを得てつくり込んでいたんですが、なんで自分が出演しないんだろう！と思うくらい面白い舞台になっています。そして、今回工藤朋子さんというフラメンコ舞踊家の方に出させていただいて、日本舞踊を踊っていたんだけどフラメンコの動きも残す……という新たな挑戦もあるんですね。萬斎さんとも松井さんとも話をしながらつくっていただきましたので、ぜひご覧になっていただきたいです。

3/11(水) 開場 18:15 / 開演 19:00
会場: コンサートホール

～オルガンリニューアル&コンサートホール再開記念～

MANSAI with OEK スペシャルコンサート

演出・監修・主演: 野村萬斎

指揮: 松井慶太 (OEKパーマネント・コンダクター)

振付: 中村壱太郎、花柳 源九郎 舞踊: 花柳ツル、工藤朋子

メゾ・ソプラノ: 秋本悠希 オルガン: 大木麻理 ほか

【トーク】新たに生み出される伝統「恋は魔術師」への誘い(解説…野村萬斎、松井慶太)

ラインバールガー／オルガン協奏曲第2番

シューマン／蝶々(オーケストラ版・舞…日本舞踊／青島広志 編曲)

ファリャ／バレエ音楽「恋は魔術師」

【全席指定】SS席 7,000円／S席 6,000円／A席 4,000円／B席 2,500円

OEK定期会員、邦友会会員SS・S席 1,000円割引、A席 500円割引

25歳以下当日券50%オフ(要証明書類)

中村壱太郎
Kazutaro Nakamura
歌舞伎俳優松井慶太
Keita Matsui
指揮・OEKパーマネント・コンダクター

#1
February

石川県立音楽堂では、その道のプロフェッショナルが監修し、県民の皆様が主役となる企画や、障害者の皆様も体験できるワークショップなども開催しています。今回は1〜3月にかけて行われる3企画をご紹介します！演者として、参加者として、芸術に触れて輝く姿が今年も垣間見れるはず。



△終演後、会場に語り掛ける西村まさ彦

石川県立音楽堂 西村まさ彦プロデュース アクティヴシニアのための演劇クラス 発表ステージ

俳優・西村まさ彦氏プロデュースによるアクティヴシニアのためのお芝居。プロの指導のもと、稽古を重ねた方々が俳優としてステージに立ちます。春頃、60歳以上の方を対象にメンバーを募集し、結団式から約4カ月半と短期間の中で作品を作り上げます。毎回のお稽古は午後〜夜にかけて4時間程度開催されますが、メン

バーの皆様の澁刺とした姿に講師陣もスタッフも刺激をいただいています。

本番当日は、生演奏をバックに本格的な舞台がつくれ、メンバーの皆様の活き活きと輝いている姿が毎年印象的です。ステージをご覧になったお客様がその熱気に惹かれ、自分も舞台上に立ってみたい！とチャレンジされメンバーになるケースも。お芝居がお好きな仲間ができる場でもありますので、ぜひ一度、2月のステージをご覧になってみてください！



△虹の彼方に

2/8 開演 11:00 / 16:00 (予定) ※2回公演
会場：交流ホール

西村まさ彦プロデュース

輝け！アクティヴシニアのための 演劇クラスVol.3 発表ステージ

総合プロデューサー：西村まさ彦（俳優）

講師：講師：関口静夫、山田亜樹

出演：シニア演劇クラスの皆様

音楽：トロイ・グーギンズ、山田ゆかり

筒井裕朗、表まり子

振付：徳山華代

【全席自由】一般 1,000円 / 高校生以下 500円

※都合により開演時間は変更になる場合がございます。



シンギングシニア

#2
March

山田和樹 監修 合唱講座 & コンサート 未来へのメッセージ

日本を代表するプロフェッショナル合唱団・東京混声合唱団（以下、東混）のメンバーによる講座です。合唱のレベルアップと同時に、ハーモニーを創ることの楽しみをお伝えしています。今年で3回目を迎えますが、毎回たくさんのご応募をいただく人気企画となりました。

東混といえば岩城宏之（OEK初代音楽監督）とも縁が深く、創設から間もない60年代から定期公演で指揮し、多くの録音を遺していますが、山田和樹（東混音楽監督）を2006年オーケストラ・アンサンブル金沢（以下、OEK）に呼んだのは「合唱とオーケストラをどちらも振れる指揮者

は稀有だ」という岩城監督の慧眼によるものだったそうです。山田マエストロにとってOEKとの共演はプロ・オーケストラデビューでもあったわけですが、それ以降、破竹の勢いで世界に躍り出ることになります。

素晴らしい歌手、ピアニストに指導いただく貴重な機会ですが、そのような歴史を背景に続いている音楽堂の財産とも言える企画です。

東混ゾリステンと東混フレンズ合唱団による大合唱もお楽しみください。

▽カルチャーナビでは東混の歌手と共に演奏も



△2025年1月音楽堂カルチャーナビに登場した山田和樹（右は山田正幸 元オーケストラ・アンサンブル金沢ゼネラルマネージャー）



3/20 開演 15:00
会場：交流ホール

山田和樹監修 「未来へのメッセージ」コンサート

合唱の魅力、合唱の世界を広げよう！

合唱：東混ゾリステン

共演：東混フレンズ合唱団 in 金沢

村上満志（指揮）

合唱曲：「アヴェ・ヴェルム・コルプス」「言葉は」

【全席自由】一般1,000円 / 高校生以下 500円

#3
January
February

東京藝術大学連携事業 障がい者支援ワークショップ&コンサート ミライへ繋ぐ音楽会

五感に働きかける音楽と映像で子どもたちの可能性を広げることを目的に開催しています。楽器体験やペーパークラフト、粘土アートをはじめ、アニメーションを使って遊ぶ「デジタルアート」やヤマハの最新技術を用いて指一本からピアノが弾けるようになる「だれでもピアノ」などまさに近未来的な体験も。「動物の謝肉祭」が聴けるコンサートなども開催されます。

中でもちょっとおすすめしたいのがみんなで輪になって打楽器アンサンブルを楽しめる「ドラムサークル」。

講師が先導してみんなで様々な形の打楽器を叩きます。難しいことなんて一つもない、どう表現したってOK。ニコニコ楽しそうに自分を表現する子どもたちの

ひたむきな気持ちに心動かされます。リピーターも多いです！ぜひいろんなアートに触れてみてください！



参加者で輪になって打楽器を楽しむ「ドラムサークル」▷

1/31 2/1 会場：交流ホール

～東京藝術大学連携事業～ ミライへ繋ぐ音楽会 障がい者支援ワークショップ&コンサート

1/31：ワークショップ

2/1：音と光の動物園

〈対象〉

1/31→障がいのある小・中・高校生と保護者

2/1→発達障がいのある小学生以上のお子さまと保護者

【参加費】1,000円（定員20組40名）

参加申込はこちらから▶



▽アニメーションを使って遊ぶ「デジタルアート」



▽映像を楽しみながら聴くミニコンサート



OEKと初共演。異文化が集まる素晴らしい音色

本日は魚の柄のシャツを着てきました。金沢といえば、海の幸ですからね。今回いただいたおすしは笹の葉に包まれていて、まず、目で楽しむことができます。カニ、玉子、すし飯が折り重なり、繊細でおいしいです。各地で公演する時には、リハーサルや本番に集中しているため、その土地の名所や味を楽しむ時間はなかなか取れません。今回、「金沢スタイル」のおすしを食べることができて、うれしいです。今度は旅行に来て、ゆつくりと金沢の食を味わいたいですね。

金沢の公演では、オーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）の皆さんと初共演させていただきました。さまざまな国、文化が集まって生み出される音は素晴らしい。バボラー・アンサンブルの仲間たちとともに、とても幸せな時間を過ごすことができました。

今回の会場となった邦楽ホールは本来、伝統芸能のためのものなので、と皆様から心配の声をあらかじめいただきましたが、心配することは何もないと思います。クラシック音楽は特別な環境でのみ演奏されるものではありません。ヨーロッパでは教会をはじめコンサート専用のホール以外でもよく演奏しますし、何より私は邦楽ホールの響きをととても気に入っています。



OEKと初共演となった特別定期公演（2025年12月4、5日）



リハーサルの合間を縫っての公開レッスンや地元の高校生の指導も

バボラーさん
イチオシ!

芝寿し「紅ずわいがに笹寿し」



甘みの強い日本海産紅ずわいがにを使用

笹葉に包まれた金沢生まれの押しずしで、通常は「鮭」「鯛」「鯖」を販売。今回は冬季限定「ずわいがに」をご紹介します。
〈販売期間〉2025年9月1日～2026年5月10日

INFO 芝寿し 百番街店

石川県金沢市木ノ新保町1-1 金沢百番街あんと
TEL.076-261-4844 ⑨8:30～20:00 ㊟不定休

※公演情報はP21をご参照ください。

それぞれの聴きどころはこちら /
1/30,31 Vol.3 2/20,21 Vol.4



金沢百番街 × 石川県立音楽堂

Artist meets Kanazawa

ホルン奏者

ラデク・バボラーク

チェコ・バルドヴィツェ出身

文：本江亜珠佳



R a d e k B a b o r á k
h o r n

ラデク・バボラーク（ホルン）／1976年チェコ生まれ。94年にミュンヘン国際コンクールで優勝、「美しく柔らかな音色」、「完璧な演奏」、「ホルンの神童」と評される。小澤、バレンボイム、レヴァインなどトップクラスの指揮者の信頼も厚く、ソリストとしてベルリン・フィルはもちろん、ウィーン・フィル、バイエルン放送響等と圧倒的な名演を残し続けている。これまでチェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、バンベルク響、ベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者を歴任。さらに、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管をはじめとする世界のオーケストラにも参加。近年は指揮者としての活躍も目覚ましく、チェコ・シンフォニエッタを創設。ヨーロッパや日本での客演も重ねる。山形交響楽団ミュージック・パートナー、プラハ・チェンバー・ソロイスト芸術監督。

野村萬斎 with
オーケストラ・アンサンブル金沢
全国ツアー

出演：野村萬斎(演出)
松井慶太
(指揮／OEKパーマネント・コンダクター)

●新潟公演

3/14 開場 13:15 / 開演 14:00

徳山美奈子／交響的素描「石川」より 海の男
フリャ／バレエ音楽「恋は魔術師」
〈会場〉リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
〈問合せ〉リゅーとびあチケット 025-224-5521
【全席指定】
S席 6,500円 / A席 5,000円 / B席 3,000円

●郡山公演

3/15 開場 14:00 / 開演 15:00

狂言「棒縛」
フリャ／バレエ音楽「恋は魔術師」
〈会場〉けんしん郡山文化センター
〈問合せ〉けんしん郡山文化センター 024-934-2288
【全席指定】
一般 7,000円 / U25 3,500円

●第42回 東京定期公演

3/17 開場 17:45 / 開演 18:30

徳山美奈子／交響的素描「石川」
～加賀と能登の歌による～より 海の男
シューマン／蝶々(編曲…青島広志・舞…日本舞踊)
フリャ／バレエ音楽「恋は魔術師」
〈会場〉サントリーホール
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】
S席 7,000円 / A席 6,000円 / B席 4,000円 / C席 3,000円
D席 2,000円

●第49回 名古屋定期公演

3/24 開場 18:15 / 開演 19:00

ラインベルガー／オルガン協奏曲第2番
シューマン／蝶々(編曲…青島広志・舞…日本舞踊)
フリャ／バレエ音楽「恋は魔術師」
〈会場〉愛知県芸術劇場 コンサートホール
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】
S席 7,000円 / A席 6,000円 / B席 4,000円

中丸三千繪 with
オーケストラ・アンサンブル金沢

出演：中丸三千繪(ソプラノ)
岡本陸(指揮)

シューベルト／アヴェ・マリア
ベートーヴェン／交響曲第7番 ほか
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】5,000円

●広島公演

1/22 開場 18:15 / 開演 19:00

〈会場〉上野学園ホール
(広島県立文化芸術ホール)
★劇場キャンペーン 18歳以下無料 ▶

●下関公演

1/23 開場 18:15 / 開演 19:00

〈会場〉下関市民会館
★劇場キャンペーン 18歳以下無料 ▶

●津山公演

1/25 開場 12:45 / 開演 13:30

〈会場〉津山文化センター
★劇場キャンペーン 18歳以下無料 ▶

2/8 開場 13:15 / 開演 14:00

白山公演

出演：松井慶太
(指揮／OEKパーマネント・コンダクター)
白澤あまね(ピアノ)
加森日奈子(ピアノ)

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲 第1番 ほか
〈会場〉白山市松任文化会館 ビーノ大ホール
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス
076-232-8632
【全席指定】6,000円
★劇場キャンペーン 18歳以下無料 ▶

2/11 開場 13:15 / 開演 14:00

和洋の響VI ～能舞とオーケストラ

総合監修：池辺晋一郎(※出演は有りません)
出演：角田鋼亮(指揮)
友枝雄人(能舞)、山本隆之(バレエ)
黒田鈴尊(尺八)、工藤重典(フルート)
鷹羽 咲／桃花の驛の花筏II
尺八とオーケストラのための(世界初演)
モーツァルト／フルート協奏曲 第1番 ほか

〈会場〉金沢歌劇座
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】
S席 6,000円 / A席 4,000円 / B席 2,500円
OEK定期会員、邦友会会員 S席 1,500円割引、A席 1,000円割引

3/3 開場 18:30 / 開演 19:00

静岡公演

出演：鈴木織衛(指揮)

外山雄三／管弦楽のためのディヴェルティメント
メンデルスゾーン／交響曲 第4番「イタリア」 ほか
〈会場〉静岡音楽館AOI
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】一般 5,000円 / U25 2,000円

1/10 開場 13:15 / 開演 14:00

ニューイヤーコンサート2026

出演：広上淳一
(指揮／OEKアーティストック・リーダー)

池辺晋一郎／祈り、そして光
メンデルスゾーン／交響曲 第4番「イタリア」
シュトラウスII／ワルツ「酒、女、歌」
シュトラウスII／ワルツ「美しく青きドナウ」 ほか
〈会場〉金沢歌劇座
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】S席 6,000円 / A席 5,000円 / B席 3,000円

1/11 開場 13:30 / 開演 14:00

ニューイヤーコンサート2026
射水公演

出演：広上淳一
(指揮／OEKアーティストック・リーダー)
伴野公三子(メゾソプラノ)
栗原峻希(バリトン)

池辺晋一郎／祈り、そして光
メンデルスゾーン／交響曲 第4番「イタリア」
モーツァルト／歌劇《フィガロの結婚》より
「恋とはどんなものかしら」
ロッシーニ／歌劇《セビリアの理髪師》より
「私は街の何でも屋」
シュトラウスII／ワルツ「美しく青きドナウ」 ほか

〈会場〉アイザック小杉文化ホール ラポール
〈問合せ〉アイザック小杉文化ホール TEL 0766-56-1515
【全席指定】一般 4,000円(会員 3,600円/当日 4,500円)
25歳以下 1,000円(会員900円)

ニューイヤーコンサート
～能登復興を願って～

出演：柴田昌宜(指揮)
鶴真衣(ヴォーカル)
陸上自衛隊中央音楽隊メンバー

J.シュトラウス／オペレッタ「こうもり」序曲
レハール／オペレッタ「メリー・ウィドウ」より
「サウンドオブミュージック」ハイライト、
オリンピックマーチ
渡辺俊幸／能登の翼 ほか
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
3才より入場可(3才より要チケット)

●津幡公演

1/16 開場 17:45 / 開演 18:30

共演：コールあじさい(合唱)
【全席指定】一般 3,000円 / 高校生以下 1,000円
〈会場〉津幡町文化会館シグナス

●敦賀公演

1/17 開場 13:15 / 開演 14:00

共演：つるがユース合唱団(合唱)
【全席指定】一般 3,500円 / 高校生以下 1,000円
〈会場〉敦賀市民文化センター

●舞鶴公演

1/18 開場 13:15 / 開演 14:00

共演：舞鶴子どもコーラス
【全席指定】一般 3,500円
〈会場〉舞鶴市総合文化会館
★劇場キャンペーン 18歳以下無料 ▶

コンサートホール

3/11 開場 18:15 / 開演 19:00

★オーケストラ・アンサンブル金沢

～オルガンリニューアル&コンサートホール再開記念～
MANSAI with OEK スペシャルコンサート

出演：野村萬斎(演出)
松井慶太(指揮／OEKパーマネント・コンダクター)
中村耆太郎、花柳 源九郎(振付)
花柳ソル、工藤朋子(舞踊)
秋本悠希(メゾ・ソプラノ)
大木麻理(オルガン) ほか

【トーク】新たに生み出される伝統「恋は魔術師」への誘い
(解説…野村萬斎、松井慶太)
ラインベルガー／オルガン協奏曲第2番
シューマン／蝶々(オーケストラ版・舞…日本舞踊)
フリャ／バレエ音楽「恋は魔術師」

【全席指定】SS 席 7,000円 / S席 6,000円
A席 4,000円 / B席 2,500円
OEK定期会員、邦友会会員 SS・S席 1,000円割引、A席 500円割引

3/14 15 16

リニューアル記念！
パイプオルガン3daysコンサート

出演(オルガン)：黒瀬恵、ディヴィッド・ハースト

▶14日(土) リサイタル 14:00開演 ◎1/23 10:00発売
【全席指定】一般 3,000円/高校生以下 1,500円/車椅子席 3,000円

▶15日(日) ワークショップ ◎2/2応募開始(定員各回20名)
10:30～11:30/13:00～14:00/14:30～15:30

▶16日(月) ランチタイムコンサート 12:15開演
【全席自由】500円 ◎1/23 10:00発売
※都合により内容の変更、中止や延期になる場合がございます。

3/22 開演 14:00

～能登復興支援～

石川県ジュニアオーケストラ
第32回定期演奏会

～石川県ジュニア&京都市ジュニア 合同公演～

出演：広上淳一(指揮／OEKアーティストック・リーダー)
松井慶太(指揮／OEKパーマネント・コンダクター)
東尾多聞(指揮／京都市ジュニアオーケストラ合奏指導者)
石川県ジュニアオーケストラ
京都市ジュニアオーケストラ

サン＝サーンス／交響曲第3番「オルガン付き」ほか
【入場無料・整理券制】 ※入場整理券はチケットボックスにて、
1月頃より配布予定

3/26 開場 11:30 / 開演 12:15

ランチタイムコンサート
春を呼ぶサクソフォンの響き

出演：アクイユ サクソフォン・カルテット
筒井裕朗(ソプラノ)、角口圭都(アルト)
中田真砂美(テナー)、大徳美幸(バリトン)

【全席自由】500円 ◎1/26 10:00 発売

3/31 開場 13:00 / 開演 14:00

オーケストラの日 2026

出演：松井慶太(指揮／OEKパーマネント・コンダクター)
いしかわ子ども邦楽アンサンブル
エンジェルコーラス、石川県ジュニアオーケストラ
オーケストラ・アンサンブル金沢 ほか
能登の翼、コダーイ／組曲「ハーリ・ヤーノシュ」 ほか
【全席自由】一般 1,000円 / 中学・高校生500円
小学生以下無料(要入場整理券)
◎定期会員・賛助会員はご招待

2/20 開場 18:15 / 開演 19:00

2/21 開場 13:15 / 開演 14:00

★オーケストラ・アンサンブル金沢

特別定期公演 Vol.4

出演：北村朋幹(指揮・ピアノ)
シューマン／序奏とアレグロ・アパッショナート
ガルデッラ／マードレ(母)ーピアノとオーケストラのための
(2023,日本初演)
ブラームス／ピアノ協奏曲 第2番

【全席指定】
S席 5,000円 / A席 4,000円 / 機数席 2,500円
すたあらいと席 1,000円 / 車椅子席 5,000円
完売

3/21 開場 13:15 / 開演 14:00

浪曲「じごくのそうべえ」と
オペラ「泣いた赤おに」

出演：
●新作浪曲「じごくのそうべえ」
玉川太福(浪曲)
●オペラ「泣いた赤おに」
松井和彦(指揮)、岩田達宗(演出)
村上敏明(赤おに)、栗原峻希(青おに)
仲谷響子、石川公美、直江学美
龍進一郎、近藤洋平、エンジェルコーラス ほか

【全席指定】一般 4,000円 / 中学生以下 2,000円

交流ホール

1/31 2/1

～東京藝術大学連携事業～
ミライへ繋ぐ音楽会

障がい者支援ワークショップ&コンサート

動物の謝肉祭をテーマとした工作や楽器体験の
ワークショップ。五感に働きかける音楽と映像で
可能性を広げるプログラム

【参加費】1,000円(定員20組40名)

2/8 開演 11:00 / 16:00 ※2回公演

西村まさ彦プロデュース

輝け！アクティヴシニアのための
演劇クラスVol.3 発表ステージ

総合プロデューサー：西村まさ彦(俳優)
講師：講師：関口静夫、山田亜樹
出演：シニア演劇クラスの皆様
音楽：トロイ・グーギンズ、山田ゆかり
筒井裕朗、表まり子
振付：徳山華代

【全席自由】一般 1,000円 / 高校生以下 500円
※都合により開演時間は変更になる場合がございます。

3/20 開演 15:00

山田和樹監督

「未来へのメッセージ」コンサート
合唱の魅力、合唱の世界を広げよう！

合唱：東混ゾリステン
共演：東混フレンズ合唱団 in 金沢
村上満志(指揮)

合唱曲：「アヴェ・ヴェルム・コルプス」「言葉は」
【全席自由】一般1,000円 / 高校生以下 500円

邦楽ホール

1/12 開場 13:15 / 開演 14:00

音楽堂カルチャーナビ Vol.4

青島広志先生&木原敏江先生
エレガンスの女王に迫る！

出演：青島広志(司会・ピアノ・構成)
木原敏江(ゲスト・漫画家)
横山美奈(ソプラノ)
三塚 至(バリトン)
竹田樹莉果(ヴァイオリン)
加森日奈子(ピアノ)

【全席指定】1,000円

1/24 開場 13:15 / 開演 14:00

萬斎の新春玉手箱
百花繚乱 獅子の舞

出演：
●半能「石橋 連獅子」
赤獅子：宝生和英
白獅子：金井雄資 ほか
●小舞「住吉」
野村万作(人間国宝)
●狂言「越後聲 双之舞 千尋谷落」
舅：野村萬斎 聲：野村裕基 ほか
●長唄「連獅子」
藤間紫(藤間 爽子)、藤間翔 ほか

【全席指定】
S席 6,000円 / A席 5,000円 / B席 1,500円
全席完売

1/30 開場 18:15 / 開演 19:00

1/31 開場 13:15 / 開演 14:00

★オーケストラ・アンサンブル金沢

特別定期公演 Vol.3

出演：吉崎理乃(指揮)
アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)
イエレーン・ベルワルツ(トランペット)

プロコフィエフ／古典交響曲
ショスタコーヴィチ／ピアノ協奏曲第1番
ハイドン／トランペット協奏曲
ショスタコーヴィチ／ピアノ協奏曲第2番

【全席指定】S席 5,000円 / A席 4,000円
機数席 2,500円 / すたあらいと席 1,000円
車椅子席 5,000円 完売

2/5 開場 11:30 / 開演 12:15

ランチタイムコンサート

能とクラシックのコラボレーション

出演：渡邊茂人(能シテ)、塚田尚吾(ピアノ)
高橋憲正、渡邊隆士(地謡)
江野泉(笛)、麦谷暁夫(太鼓)

「船弁慶」クセ
リスト／「リゴレット」による演奏会用パラフレーズ
「船弁慶 FUNA-BENKEI」 ほか

【全席自由】500円